

このたび、2019 年 9 月 7 日に、秋季大会と総会が学習院大学において予定どおりに行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

☆ 新体制の発足について

今年度は、日仏哲学会執行部・理事会の新体制の年となります。2019 年 7 月の理事選挙の結果を受けて、選挙管理委員長の亀井大輔氏により、以下の 21 名が理事に選出されたことが総会で報告され、新理事として承認されました。

安孫子信、上野修、香川知晶、加國尚志、合田正人、河野哲也、米虫正己、澤田直、杉村靖彦、杉山直樹、谷川多佳子、津崎良典、中真生、長坂真澄、西山雄二、檜垣立哉、平井靖史、廣瀬浩司、藤田尚志、村松正隆、山田弘明（50 音順）

また、同 8 月 18 日の臨時理事会の決定に基づき、執行部の新体制案を提示し、総会で以下の通り承認されました。

〔会長〕 安孫子信（法政大学）

〔副会長〕 香川知晶（山梨大学）、檜垣立哉（大阪大学）

〔事務局長〕 杉村靖彦（京都大学）

〔編集委員長〕 合田正人（明治大学）〔同副委員長〕 津崎良典（筑波大学）

新事務局の住所、およびメールアドレスは以下の通りです。ご確認ください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

新体制の下、日仏哲学会の活動を一層盛り立てていきたいと考えております。6 年ぶりの事務局移転となりますので、業務移行のためしばらくご面倒をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

☆ 総会での審議・議決事項について

新体制の発足以外の、総会での審議・議決事項は以下の通りです。

- 1) 昨年度決算、今年度予算について、下記（別紙資料 1）のように総会で承認されました。
- 2) 今年度の事業予定について、下記（別紙資料 2）のように総会で承認されました。すでにおこなわれた事業については、日仏哲学会 HP の方をごらんください。
- 3) 第 6 回日仏哲学会若手研究者奨励賞受賞者が、小川歩人氏（論文「『幾何学の起源』「序説」における「文学的对象の理念性」の在処」）に授与され、表彰式が行われました。
- 4) 個人情報保護をめぐる情勢の変化と事務面・財政面の負担から、会員名簿の作成取りやめの可能性を提示し、意見聴取がなされました。引き続き理事会で検討されることになりました。
- 5) 事務局で保有している機関誌全号の PDF について、HP で公開する方向で進めることになりました。今後の手続きについては、あらためて HP や会報で周知いたします。

☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年 12 月 31 日までに、下記投稿規定中の編集委員長の e-mail アドレス宛に、PDF ファイルにて完成原稿をお送りください。（以下参考。※ 投稿規定は HP からでもご覧いただけます）。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定

1. テーマ: フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。
2. 応募資格: 日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない）。
3. 応募原稿の形式: ワードプロソフトによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1 行全角 43 字（半角 86 字）の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて 370 行以内。注はワードプロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジюме（上記設定でタイトルと著者名も含め 12 行以内）を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。
4. 原稿作成上の注意: 欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。また仏語レジюмеは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。

5. 原稿応募期間:2018年12月1日～31日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)のPDFを添付し、編集委員長宛に送付すること。

6. 原稿送付先: 編集委員長宛。

(編集委員長): 合田正人: 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学文学部
メールアドレス: mg1957@kisc.meiji.ac.jp

審査: 掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿(論文及び欧文レジュメ)の電子ファイル(PDFではなく、Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談)を添付ファイルとしてメールで編集委員長宛に送付すること。

☆ 書評対象作の推薦について

編集委員会では、昨年度より、『フランス哲学・思想研究』掲載の「書評対象作選定の基準」を以下のように定めています。

- ・書評対象として会員が前年度出版した著作を可能なかぎり取り上げる。
- ・書評対象作は編集委員会で決定する。
- ・書評対象として、前年度1年間に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。
- ・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
- ・書評対象作のリストアップのため、会員よりの自薦・他薦を受け付ける。(自薦の場合は、著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。)

これに伴い、書評対象作の推薦を受け付けます。締切は2020年1月15日、編集委員長までご連絡下さい。

☆ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2020年春季大会は3月21日(土)に京都大学(吉田キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は25分(15分の質疑応答付き)です。

発表希望者は2019年12月31日までに、日本語の場合は1200字以内、フランス語の場合は300mots以内（いずれもタイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む）の発表要旨（Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの）を事務局までメールで送付してください。

なおその際には、「応募メールを送った」旨を伝える簡単なく確認メールも別途同時に事務局までお送りください。採否は1月末日までに決定いたします。

★会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000円）を納入していただきたく、お願い申し上げます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。（なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。）

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

【資料1】2018年度決算、2019年度予算について

2018年度（2018年9月1日～2019年8月31日）

2018年度予算

<u>収入</u>	
会員会費	1,500,000
雑収入	50,000
（単年度収入	1,550,000）
前年度繰越金	1,630,955
計)	3,180,955円

支出

大会費	200,000
事務局費	300,000
通信費・送料	160,000
機関誌刊行費	860,000
若手研究者奨励賞	30,000
（単年度支出	1,550,000）
次年度繰越金	1,630,955
計)	3,180,955円

2018年度決算

<u>収入</u>	
会員会費	1,504,000
雑収入（注1）	452,613
（単年度収入	1,956,613）
前年度繰越金	1,630,955
計)	3,587,568円
（注1）雑収入内訳	
機関誌売上	8,900円
著作権料	1,910円
大会補助金	441,803円

支出

大会費（注2）	621,941
事務局費	459,054
通信費・送料	191,503
機関紙刊行費	896,136
若手研究者奨励賞	30,000
雑支出	19,378
（単年度支出	2,218,012）
次年度繰越金	1,369,556
計)	3,587,568円

（注2）大会費内訳

大会費	180,138円
大会補助金	441,803円

繰越金内訳

振替貯金	1,360,578円
現金	8,978円

2) 2019年度（2019年9月1日～2020年8月31日）予算

2019年度予算

<u>収入</u>	
会員会費	1,500,000
雑収入	50,000
（単年度収入	1,550,000）

前年度繰越金 1, 369, 556
計) 2, 919, 556円

支出

大会費 200, 000
事務局費 300, 000
通信費・送料 160, 000
機関誌刊行費 860, 000
若手研究者奨励賞 30, 000
(単年度支出 1, 550, 000)

次年度繰越金 1, 369, 556
計) 2, 919, 556円

【資料2】2019年度事業計画

① 2019年9月7日 秋季研究大会（学習院大学 目白キャンパス）

- ・一般研究発表：6名
- ・総会
- ・シンポジウム：「19世紀フランス哲学の再検討1 カント哲学のフランス的活用」
（司会）杉山直樹、三宅岳史 （発表）合田正人、山根秀介、杉山直樹
- ・日仏哲学会共催イベント（2019年9月6日）
哲学と時間：ベルクソン『コレージュ・ド・フランス講義 時間観念の歴史』合評会
主催：PBJ (Project Bergson in Japan) / 後援：日仏哲学会
書評者：納富信留、鈴木泉
応答者：藤田尚志、平井靖史
- ・提案型ワークショップ（2019年9月6日）
Comprendre les Dynamiques Vitales（生命の力学を理解する）
オーガナイザー：松井久
発表者：平井正人、ティエリー・オケ、石渡崇文、松井久

② 2020年3月21日（土） 春季研究大会（京都大学 吉田キャンパス）

シンポジウム「第二帝政と哲学者たち」
企画責任者：村松正隆（北海道大学）
提題者：高山裕二（明治大学）、宮代康丈（慶應義塾大学）、伊多波宗周（京都外国語大学）、赤羽悠（早稲田大学）

③ 2020年9月12日（土） 秋季研究大会（東京都立大学）

④ 2019年9月 機関誌24号発行